

～今後の管理のポイント～

- 収量・品質向上のために追肥を行いましょう。
- 赤かび病防除を徹底しましょう。
- 排水対策を徹底しましょう。

1 気象経過

- 気温は2月下旬から3月上旬は平年並でしたがその後は高温で推移しました。
- 日照時間は3月上旬以降は多照で推移しました。
- 降水量は3月第6半旬に42.5 mm、4月第2半旬に61 mmの降雨がありました。

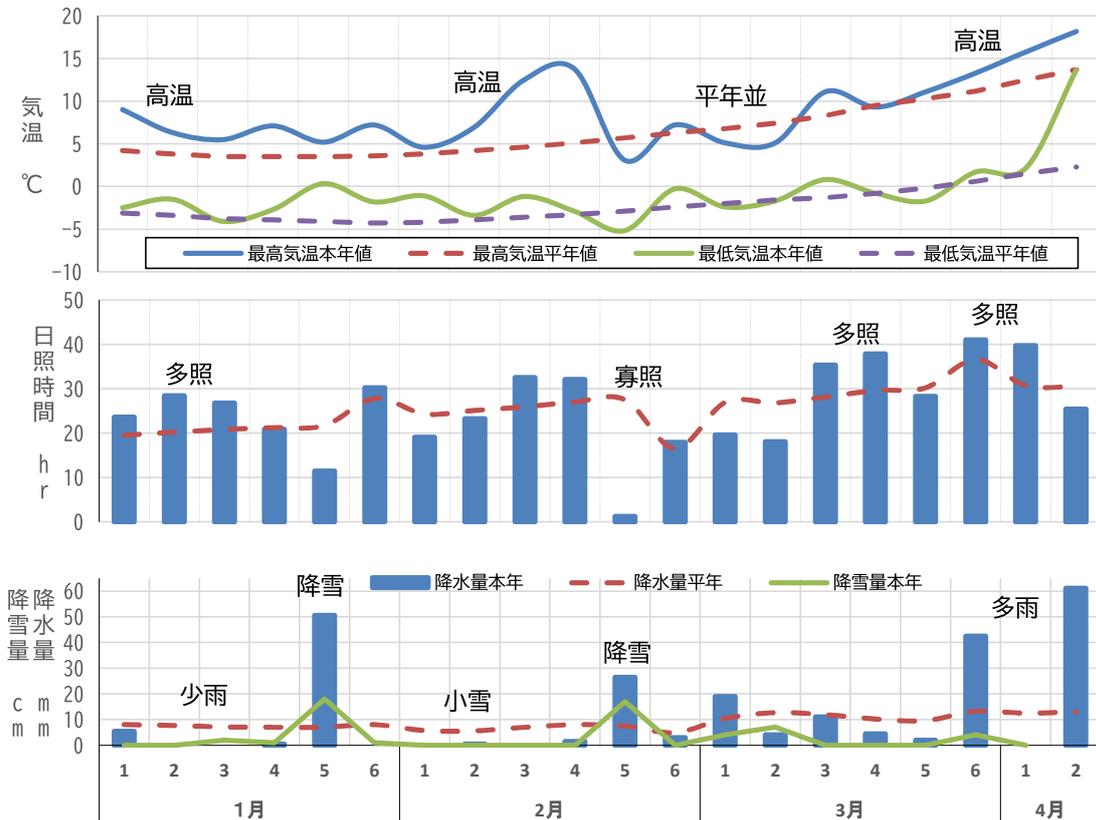


図1 気象経過 (古川アメダス)  
※実線又は棒グラフが本年値、点線は平年値。

2 生育状況(4月10日現在)

小麦「シラネコムギ」

- 生育量は、草丈が36.8 cm (平年比146%)、茎数が1,264本/m<sup>2</sup> (平年比131%)と平年を上回っています。

- 幼穂長は 6.4 mm（平年差+2.1 mm）と前年程ではないですが、平年より生育が進んでいます。

表1 「シラネコムギ」生育調査結果

地区名 品種名	播種日			草丈 (cm)			茎数 (本/m <sup>2</sup> )			幼穂長 (mm)		
	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
古川 シラネコムギ	10/20	-3	-4	36.8	97%	146%	1264	135%	131%	6.4	-5.3	+2.1

※1 平年差（比）は、過去5か年（令和元年年～令和5年産）の平均値との比較

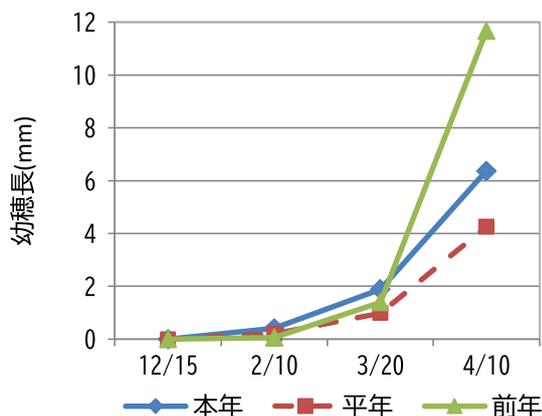


図2 生育調査における幼穂長の推移

写真1 幼穂



写真2 生育状況（左：3月20日調査、右：4月10日調査）

### 3 今後の生育ステージの見通し

- 「シラネコムギ」の今後の生育ステージは、減数分裂期が平年より5日早い4月25日頃、出穂期が2日早い5月6日頃と予測されます（表3）。

表2 「シラネコムギ」幼穂長による生育ステージ予測

地区名 品種名	播種日			減数分裂期			出穂期			開花期
	本年	前年差	平年差	本年予測	前年差	平年差	本年予測	前年差	平年差	本年予測
古川 シラネコムギ	10/20	-3	-4	4/25	+4	-5	5/6	+6	-2	5/16

※1 平年差は、過去5か年（令和元年～令和5年産）の平均値との比較

※2 普及に移す技術第91号（麦類の生育ステージ予測シート）をもとに予測

## 4 今後の管理

### (1) 追肥

幼穂長や葉耳間長を確認し、適期の追肥を行いましょ。特にこの時期は幼穂長が1日で5mm程度伸びるので、適期を逃さないように注意しましょ。

表3 「シラネコムギ」追肥時期と施肥量の目安

追肥の時期	幼穂形成期 (幼穂長2~3mm)	減数分裂期 (幼穂長30~50mm)	穂揃期 (8~9割出穂)
目的	有効茎歩合増加 (穂数の確保)	一穂粒数の増加 登熟良化	子実タンパク質含有率 の向上
追肥時期	3月下旬~4月中旬	4月下旬~5月上旬	5月中旬
N成分量 (kg/10a)	2.5	2.5~5	2.5
硫安の場合 (kg/10a)	12	12~24	12
尿素の場合 (kg/10a)	5.4	5.4~11	5.4

#### 【減数分裂期の判断方法】

減数分裂期の目安は、幼穂長がおよそ30~50mmであり、止葉葉耳間長から幼穂長を推定し、減数分裂期の追肥時期の目安とすることができます。

「シラネコムギ」では「4~5割の茎が止葉葉耳間長±0mm以上に達したとき」が追肥の目安となります。

幼穂長	30mm	40mm	50mm
葉耳間長	-30mm	+3mm	+30mm
葉耳間長の形態的推移			

図3 「シラネコムギ」葉耳間長の形態的推移

### (2) 赤かび病防除

#### ● 赤かび病とは？

赤かび病は、穂の一部あるいは全部が褐色となる病害です。発生源は、主に汚染種子内の菌糸や被害わら、こぼれた麦上に形成された病原菌（子のう殻）です。赤かび病は開花期が最も感染しやすく、開花期に降雨が多いと発生しやすくなります。

#### ● 赤かび病の防除体系

赤かび病防除は2回の薬剤防除が基本となります。1回目の防除は「開花始期~開花期」、2回目の防除を「1回目の7~10日後」に行いましょう。2回防除後に降雨が続く場合は、蔓延のおそれがあるため追加防除を行いましょ。



図4 赤かび病防除体系

### (3)排水対策

麦は湿害に弱い作物です。節間伸長期から登熟期にかけては特に要注意で、一般に地温が上昇してからの被害は大きくなります。ほ場に水を停滞させないように排水対策を徹底しましょう。

- 明きよ…手直し、管理機等で溝を作り、排水口まで繋げましょう。  
前作水稲ほ場では、稲わらが排水口に詰まっていないか確認しましょう。
- 暗きよ…栓が閉じられていないか再確認しましょう。
- 湿害の影響
  - 節間伸長期～出穂  
根の機能障害、弱小分けつの枯死、穂数の減少、穂の縮小化
  - 出穂期以降  
粒の充実不良のため千粒重が軽くなり、収量・品質が低下、稈の伸長抑制

**東北地方 1 か月予報**      (4月13日から5月12日までの天候見通し)

令和5年4月11日  仙台管区气象台  発表  ※抜粋

**<予想される向こう1か月の天候>**  
暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

**<向こう1か月の気温, 降水量, 日照時間の各階級の確率(%)>**

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気 温】	東北地方	10	10	80
【降 水 量】	東北地方	40	30	30
【日照時間】	東北地方	40	30	30

**<気温経過の各階級の確率(%)>**

		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方	10	10	80
2 週 目	東北地方	10	20	70
3～4週目	東北地方	20	30	50

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆**農作業安全確認運動 (3月1日～6月30日)**◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

近年、様々な農業機械の普及、農業従事者の高齢化等により、機械操作のミス、過信と慣れによる安易な作業が重大事故に結びつき、依然として農作業死亡事故が発生しています。安全フレーム・キャブ付きトラクターの使用や、シートベルト、ヘルメットの着用を徹底し、農作業安全に努めましょう。

令和6年スローガン 「徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策」

「大崎地域の稲作技術情報」, 「大崎地域の大豆作技術情報」, 「大崎地域の麦作技術情報」は、当普及センターのホームページでもご覧いただけます。インターネットで「大崎農業改良普及センター」と検索または右のQRコードを読み取ってください。

